

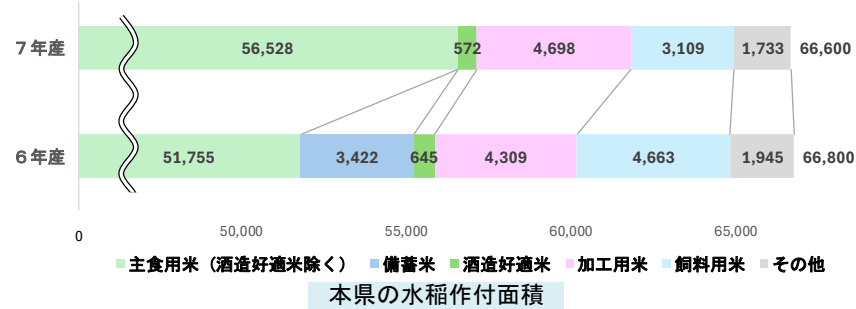
(PJ18)県産米全国シェア拡大プロジェクト

【プロジェクト目標】

プロジェクトKPI	現状値	目標値			
		R7	R8	R9	R10
主食用米生産量の 全国シェア (重量ベース)	4.67 4.70 % (R5年)	4.77%	4.85%	4.92%	5.00%
「生産の目安」の フル活用度	▲460ha (R6年)	▲345ha	▲230ha	▲115ha	0ha

【令和7年度のこれまでの取組】

- 需要に応じた米生産に関するWG会議(8/8、11/7)や、4ブロック別の地域農業再生協議会との意見交換会(村山:8/29、最上:9/4、置賜:8/29、庄内:9/4)、有識者からなる米政策推進会議(11/19)を開催し、関係機関・団体と連携して8年産米の「生産の目安」設定のための協議・検討を丁寧に実施
- 東北農政局山形県拠点や市町村等と連携し、地域農業再生協議会ごとの作付状況を把握
- 地域農業再生協議会に作付状況等を情報提供しながら、政府の支援施策や産地交付金等を活用し、非主食用米、大豆等の畑作物及び野菜等の高収益作物等の取組を推進



【評価と課題】

- 県産米の全国シェア拡大に向けて、引き続き、オール山形体制で**需要を拡大しながら、その**需要に応じた米生産の推進が必要
- 「生産の目安」の設定にあたっては、全国の需給状況や県産米の販売動向等を踏まえ検討していくこととしており、関係機関・団体と連携し、協議・検討の積み重ねが必要
- 主食用米の価格が高騰し、非主食用米等の作付けが減少傾向にあるため、政府の支援施策等をフルに活用しながら、非主食用米や高収益作物の取組の維持が必要

【今後の取組】

- ＜令和7年度＞
 - 山形県農業再生協議会臨時総会を開催し、8年産米の「生産の目安」を決定(12/1予定)
 - 「生産の目安」の自主提供や追加提示など、フル活用の取組を実施(12～3月)
 - 8年産の非主食用米や畑作物等の支援策について、市町村に情報を提供(随時)
- ＜令和8年度の方方向性＞
 - 政府の令和9年度からの水田政策の見直しの状況を注視し、関係機関・団体等と、本県の需要に応じた米生産のあり方を検討
 - 各種会議や意見交換等を実施し、9年産米の「生産の目安」を決定
 - 非主食用米や畑作物等の支援策について、市町村に情報を提供し、取組を推進